

令和7年度(2025年度)

総合環境理工学部
国際バカロレア入試
学生募集要項

【総合環境理工学部 国際バカロレア入試】

項目	月 日
出願書類等受付期間	令和6年9月24日(火)～9月30日(月)必着
選 抜 期 日	令和6年10月12日(土)
合 格 発 表 日	令和6年11月1日(金)
入 学 手 続 期 間	令和6年11月7日(木)～11月13日(水)必着

秋 田 大 学

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

総合環境理工学部および各学科・コースの概要と入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）… 1

総合環境理工学部国際バカロレア入試

1. 募集学科・コースおよび募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願手続	6
4. 選抜方法	7
5. 合格者の発表	8
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	8
7. 入学手続	8
8. 個人の試験成績の開示	8
9. その他	9
10. 総合環境理工学部国際バカロレア入試に関する問い合わせ先	9

検定料の免除について … 10

秋田大学学生寮について … 10

添付書類等

1. 入学志願票
2. 受験票・写真票
3. 自己アピール書
4. 検定料振替払込受付証明書貼付台紙
5. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
6. 宛名票
7. 出願用宛名用紙

総合環境理工学部および各学科・コースの概要と入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

(1) 総合環境理工学部の理念・目的

総合環境理工学部は、環境問題に関連した科学技術に関する教育を強化し、グリーン人材養成に取り組むとともに、「総合知」の活用推進のために、分野横断教育を強化して専門性の枠を越えて共創できる能力を涵養します。さらに、変遷する地域・社会のニーズに対応するため英語教育の強化にも取り組みます。これにより、科学技術に関する確かな専門性を身に付け、かつ、幅広い視野を身に付けて他者と共創でき、持続可能社会の実現に貢献できる人材を養成します。

(2) 各学科・コースの概要

【応用化学生物学科】

応用化学生物学科では、人の健康を支える製薬業や医療機器関連企業、および脱炭素社会に向けて変革する化学関連企業などで複合的な問題を解決できる人材を育成するうえで、化学と生物学の両方の知識と技術を教育し、それらを活用する能力を身に付けさせ、化学と生物学の専門性の重みの異なる3つのコースで学生の専門性の志向に応じた教育を行います。

①生物学コース

生物学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度なバイオテクノロジーを修得するため、生化学、分子生物学、細胞生物学、生物化学工業などの生物学系専門分野を重点的に学び、人の健康や環境保全、バイオ生産における諸課題に挑戦する人材を養成します。

②有機・高分子化学コース

化学と生物学の境界領域としての有機化学と高分子化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な有機合成技術を基盤とする応用力を修得するため、有機化学、高分子化学、有機材料科学などの専門分野を重点的に学び、医薬品や農薬および化学素材の製造や化学的検査・分析における諸課題を解決できる人材を養成します。

③応用化学コース

化学の専門分野に重みを置き、化学と生物学を総合した考え方と高度な化学技術を修得するため、無機材料科学、電気化学、反応工学、エネルギー変換材料科学などの化学の専門分野を重点的に学び、クリーンエネルギーの創出、環境浄化、脱炭素化社会の実現における諸課題に取り組む人材を養成します。

【環境数物科学科】

環境数物科学科では、モデリングやシミュレーションから観測・実験で得られたデータの分析などを通して、気候変動など地球で起こっている様々な異変を地学の知識を発展させて理解し、数学の知識を用いてモデル化する能力を備え、材料の特性や機能を物理学の知識を駆使して理解し、半導体・情報通信関連機器の環境負荷低減に取り組む能力を備え、理論から応用に至る幅広い知識と理論的な思考力を基盤として環境問題などの社会の諸課題の解決に挑戦する人材を養成します。

①数理科学・地球環境学コース

数理科学と地球科学を柱として環境科学に学際的にアプローチする教育プログラムを構成します。数学の代表的な分野（代数学、幾何学、解析学、離散数学等）、理論物理学、地球科学の各分野において、基礎から発展的な内容まで教育し、各分野を専門とすると同時に共創の考え方を身に付けることで、地球の環境と持続可能社会の実現に貢献する人材を養成します。

②機能デバイス物理コース

機能性の高い材料の新規開発からそれを用いた低環境負荷型の電子デバイスの設計および評価に関する教育研究を推進します。材料の機能や用途、デバイスの動作原理や特性、そして材料機能と電子デバイス特性の相関を学ぶとともに、数理科学・地球環境学コースとの分野融合で効率化を目指します。これらを通して、材料の機能性や物性を把握して電子デバイスを設計する能力、デバイスのシステムや仕様を把握しながら材料を開発する能力を身に付けて活躍する人材を養成します。

【社会システム工学科】

社会システム工学科では、輸送機の電動化や社会インフラの整備など社会の持続的な発展を目指した教育研究を行い、持続可能な地球環境と社会システムの構築に貢献します。機械工学と材料科学・工学を基礎としたモビリティとその構成素材に関する専門性、電気電子工学を基礎とした脱炭素に寄与する電気システムに関する専門性、および人とまちを守る社会基盤に関する専門性を備えた、持続可能で豊かな未来社会を築く人材を養成します。

①モビリティコース

地球環境と調和した先進モビリティ開発のための要素技術・システム技術を身に付ける課程として、機械工学の基礎を成す四力学（材料力学、熱力学、流体力学、機械力学）に加え、モビリティを構成する素材の材料科学・工学までを網羅した教育研究を行います。また、社会システム工学科の他2コースと連携して学際的融合を追求した教育研究を行うことで先進モビリティの設計・開発に貢献できる人材を養成します。

②電気システムコース

輸送機の電動化、再生可能エネルギーの社会導入などを旨とし、知的な電気機器や制御システムの設計・開発、電気エネルギーの発生・変換・貯蔵・利用、人間と環境の関わるエンジニアリングデザインに関する教育研究を行います。電気電子工学を中心とする電気システム分野の専門知識を活用して、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材を養成します。

③社会基盤コース

持続可能で強靱な地域社会を支える社会基盤の構築とその維持管理を目的として、環境負荷低減機能を重視した新たな地域社会基盤を創出する知識と技術を身に付けるための研究と教育を行います。(1)すべての人にとって快適な都市・地域社会の創造に関する知識と能力、(2)環境に適合した構造物の設計と施工に関する知識と能力、(3)水環境や地盤環境の保全と改善に関する知識と能力を素養として備えた人材を養成します。

(3) 教育制度の特徴

本学部では、入学から卒業までの間、担任制を導入して学生を指導します。1～2年次では教養に関連する科目、国際言語科目（英語）、データサイエンスの基礎、理工系の基礎となる科目など幅広い分野を学習します。1年次後期から各学科専門科目の履修を開始し、2年次後期からは専門教育コースに分かれます。学部必修科目、学科必修科目などを配置して特定の分野にとらわれず幅広い科学技術に関する知識を教育します。

また、高度な「専門知」を身に付けた人材養成を行うため、大学院修士課程までを視野に入れた「6年一貫教育」を想定し、高度な専門教育は大学院修士課程で実施します。

(4) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【総合環境理工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

◆育てる人間像

総合環境理工学部では、理工学に関する高い専門性を身に付け、かつ、他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決できる人、また、自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け、高い倫理観を持ち、科学技術による環境問題の解決に貢献できる人を育成します。世界や地域で活躍できるこのような人材を輩出するために、次のような能力と意欲をもつ人を入学者として求めます。

●求める人物像

1. 科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人
2. グリーン社会の実現に興味があり、積極的に自己学習のできる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

【応用化学生物学科】

●求める人物像

1. 化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
2. 化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し、人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性、②応用化学生物学科で学ぶことに強い意欲、③化学、生物学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。また、国際的な視野を持ち、創造的に行動できる人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

【環境数物科学科】

《数理科学・地球環境学コース》

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学、地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学、物理学、計算機科学、地球科学に対する強い関心と学習意欲を持つ、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。また、国際的な視野を持ち、創造的に行動できる人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《機能デバイス物理コース》

●求める人物像

1. 数学や物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 発展する科学技術の基礎となる磁性材料、電子・光学材料、半導体材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
4. 最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において、創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力、②機能性材料・エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲、③環境問題の解決、地域や世界の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、面接（数学および物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

【社会システム工学科】

《モビリティコース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち、深く学びたい人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性、②モビリティ、機械、材料の分野について学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《電気システムコース》

●求める人物像

1. 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や、再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど、環境と調和した社会システムの構築に興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力、②電気システム分野での幅広い学習・知識欲、③世界の発展への強い関心、を持っている人を求めます。また、国際的な視野を持ち、創造的に行動できる人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《社会基盤コース》

●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力ならびに協調性、②社会基盤工学分野を学ぶことに対する強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

総合環境理工学部国際バカロレア入試

1. 募集学科・コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス	若 干 名
	有 機・高 分 子 化 学 コ ー ス	
	応 用 化 学 コ ー ス	
環 境 数 物 科 学 科	数 理 科 学・地 球 環 境 学 コ ー ス	若 干 名
	機 能 デ バ イ ス 物 理 コ ー ス	若 干 名
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス	若 干 名
	電 気 シ ス テ ム コ ー ス	若 干 名
	社 会 基 盤 コ ー ス	若 干 名

注1) 応用化学生物学科への入学者は、入学した学科内の一つのコースへの配属を2年次後期に決定します。

2. 出願資格

総合環境理工学部国際バカロレア入試に出願することのできる者は、次の①、②のすべてに該当する者としてします。また、合格した場合、入学を確約することができる者としてします。

- ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和7年3月までに授与された者および授与見込の者
- ② 国際バカロレア資格の取得において、次のアおよびイに該当する者
 - ア 言語Aを「日本語」により履修した者、または言語Bについて「日本語」を履修した者
 - イ 本学の指定する次表の科目を履修した者

学 科	コ ー ス	出 願 要 件
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス	物 理, 化 学, 生 物 から 1 科 目 (H L)
	有 機・高 分 子 化 学 コ ー ス	
	応 用 化 学 コ ー ス	
環 境 数 物 科 学 科	数 理 科 学・地 球 環 境 学 コ ー ス	数 学 (H L ま た は F H L)
	機 能 デ バ イ ス 物 理 コ ー ス	物 理 (H L ま た は F H L)
社 会 シ ス テ ム 工 学 科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス	数 学 (H L ま た は F H L) お よ び 物 理 (H L)
	電 気 シ ス テ ム コ ー ス	
	社 会 基 盤 コ ー ス	

H LはHigher Level, F H LはFurther Higher Levelを表す。

3. 出願手続

(1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
①入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●志望学科・コース：志望する学科・コース名にチェックをしてください。 ●氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ●生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ●国 籍：国籍について記入してください。 ●出 願 資 格：出願資格について記入してください。 ●連 絡 先：本人および保護者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。 なお、電話が呼び出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。 保護者の連絡先が本人と同じ場合は「同上」と記入してもかまいません。 メールアドレスは、入学後も使用するため、出願者本人のメールアドレスを記入してください。 ●履 歴：(学歴) 高等学校以降について記入してください。 (職歴) 職歴がある場合には記入してください。
②受 験 票 ・ 写 真 票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真(4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。</p>
③自 己 ア ピ ー ル 書	<p>本学部所定の様式に自己アピールできることを400字以内に自筆で記入してください。日本語で作成してください。A4判(両面可)1枚程度の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。なお、必要であれば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。</p>
④国際バカロレア 資格証書の写し等	<p>【国際バカロレア資格取得者】 国際バカロレア機構が授与する国際バカロレア資格証書の写しおよびIB最終試験6科目の成績評価証明書を提出してください。</p> <p>【国際バカロレア資格取得見込み者】 出身学校長、進路指導担当者等が作成した国際バカロレア資格の取得見込み証明書(任意様式)およびIBディプロマ「Predicted Grades(予測スコア)」を提出してください。</p> <p>国際バカロレア資格取得見込みで出願した者が合格となった場合は、国際バカロレア機構が授与する国際バカロレア資格証書の写しおよびIB最終試験6科目の成績評価証明書を後日提出することとします。</p>
⑤E E (Extended Essay：課題論文) の写し等	<p>E E (Extended Essay：課題論文)を日本語で作成した場合、その写しを提出してください。E Eは、国際バカロレア機構に未提出のものでも可とします。日本語以外の言語で作成した場合、その写しおよび入学志願者が作成した日本語翻訳を提出してください。文書作成ソフト等で作成可とします。</p>
⑥検定料・検定料振 替払込受付証明書 貼付台紙	<p>検定料は17,000円です。</p> <p>本学部所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和6年9月9日(月)以降出願前までゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います)※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和6年10月1日(火)から10月7日(月)までの間(土・日・祝日は除きます)に、秋田大学経理・調達課出納担当(TEL 018-889-2234)に申し出てください。</p>

⑦合格通知用宛名票	本学部所定の用紙に、所要事項を記入してください。
⑧その他	日本国籍を有しない者は、市区町村長発行の「在留資格が明記された住民票」または「旅券の写し」を提出してください。

(2) 出願書類等受付期間 令和6年9月24日(火)～9月30日(月)(必着)

(3) 出願方法

本学部所定の様式のうち、払込取扱票以外の書類は、本学入試情報サイト (<https://www.akita-u.ac.jp/admission/>) からダウンロードし、A4用紙に印刷したものに所要事項を記入し提出してください。

払込取扱票は、本学入試課へ請求してください。

出願書類等は一括し、本要項巻末の「出願用宛名用紙」を市販の角形2号封筒に全面糊付けで貼り付けて、原則として「速達簡易書留」により期日までに郵送してください。

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
- ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願後、出願書類等の「受信場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
- ④ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

4. 選抜方法

(1) 選抜方法および配点

選抜方法	配点
面接	100点
合計	100点

(2) 選抜期日 令和6年10月12日(土) 12時30分～17時00分

(3) 選抜会場 秋田大学総合環境理工学部(秋田市手形学園町1番1号)

集合場所・時刻等は受験票送付時に通知します。

受験票が10月9日(水)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

(4) 面接における評価の観点・基準等

- ① 提出書類を面接の参考資料とします。
- ② 面接は日本語で行います。
- ③ 面接においては制作物等の持ち込みを認めません。
- ④ 面接を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

(5) 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れずに持参してください。受付を行う際には係員に提示してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、アラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。
- ④ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められません。
- ⑤ 試験時間中はすべて試験監督者の指示に従ってください。

5. 合格者の発表

令和6年11月1日(金) 15時(予定)

秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付します。

ホームページへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

【国際バカロレア資格取得見込み者について】

国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が令和7年(2025年)3月までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。

6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害(以下、「障害等」という。)により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和6年8月16日(金)までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課 電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

7. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、令和6年11月7日(木)～11月13日(水)(必着)までに、入学料を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

納付金

- ①入学料 282,000円(予定額)
- ②授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。授業料は入学後に納入してください。

2. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

8. 個人の試験成績の開示

受験者の試験順位を不合格者に限り、本人の申し出によって「A、B、C」のランク区分により開示しますので、下記の申込期間内にお申し込みください。

ただし、不合格者が3名未満の場合は開示しません。

- (1) 申込期間 令和7年5月1日(木)～令和7年6月30日(月)
- (2) 申込窓口 申込方法等詳細については下記にお問い合わせください。

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話：018-889-2313

9. その他

- ① 入学手続が完了したときは、本学および他の大学を受験しても入学許可は得られません。
- ② 合格者には、事前課題の提出を求める場合があります。連絡があれば指示に従ってください。
- ③ 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、又は入学前1年以内に、学資負担者の死亡その他特別な事情により納付が困難であると認められる場合には、選考の上、免除等が認められる制度があります。(詳細は、入学手続関係書類でお知らせします。)

10. 総合環境理工学部国際バカロレア入試に関する問い合わせ先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園1番1号 電話：018-889-2313

E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

検定料の免除について

災害救助法が適用される自然災害により被災された方々の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は、**出願前に必ず本学入試課までご連絡ください。**

(1) 対象者

自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が所有する自宅家屋の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方
- ② 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方
- ③ 学資負担者の居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域または計画的避難区域等に指定された方

(2) 申請の方法

事前に本学入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書類を(4)の申請期限までに提出してください。

提出の際には、封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒(長型3号, 84円切手貼付, 住所・氏名記入)を同封してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

(3) 申請書類および証明書

- ① 申請書類
 - ・「検定料免除申請書」(別紙様式)(本学ホームページ「入試情報」内にある「検定料免除」からダウンロードできます。)
- ② 証明書
 - ・「り災証明書」(上記(1)の①に該当する方)
 - ・「死亡または行方不明を証明する書類」(上記(1)の②に該当する方)
 - ・「被災証明書」(上記(1)の③に該当する方)

(4) 申請期限 令和6年9月3日(火)

(5) 許可または不許可の通知

- ① 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。願書の提出に当たっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を「検定料振替払込受付証明書貼付台紙」に貼って提出してください。
- ② 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。願書の提出に当たっては、検定料を納付の上必要な手続をしてください。

検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

(6) その他

諸事情により、申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、願書を提出してください。

*** 検定料免除に関する問い合わせ先：秋田大学入試課 電話 018-889-2256**

秋田大学学生寮について

入寮案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は大学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp>) でお知らせします。

*** 学生寮に関する問い合わせ先：秋田大学学生支援・就職課 TEL：018-889-2240**

令和7年度秋田大学総合環境理工学部国際バカロレア入試入学志願票

受験番号	※
------	---

注) 記入は黒のインクまたは黒のボールペンを使用し、受験番号の欄には記入しないでください。(消せるボールペンは使用不可)

志望学科・コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース			該当事項を☑すること			
ふりがな		生年月日	昭和	年	月	日	生
氏名		性別	平成	年	月	日	男・女
国籍							
出願資格	最終学校所在国		最終学校名				
	卒業(修了)年月日	年	月	日	卒業(見込み) 修了(見込み)		
	国際バカロレア資格取得(見込み)年月			年	月		
本学が指定する履修科目(見込みを含む)	<input type="checkbox"/> 数学 (<input type="checkbox"/> HL <input type="checkbox"/> FHL) <input type="checkbox"/> 物理 (<input type="checkbox"/> HL <input type="checkbox"/> FHL) <input type="checkbox"/> 化学 (<input type="checkbox"/> HL) <input type="checkbox"/> 生物 (<input type="checkbox"/> HL)			該当事項を☑すること			

〈連絡先〉

本人	〒 - 電話 () - () - () (住所)
	メールアドレス ()
保護者	〒 - 電話 () - () - () (住所)

〈履歴〉

(大学入学, 退学・就職・自宅勉学等を必ず記入してください。ただし, 高校卒業見込者を除きます。)

年 ~ 年	月 ~ 月	
年 ~ 年	月 ~ 月	
年 ~ 年	月 ~ 月	
年 ~ 年	月 ~ 月	

令和7年度受験票	
受験番号	※
氏名	
志望学科・コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース 該当事項を☑すること

※受験番号の欄には記入しないでください。

問い合わせ先：秋田大学入試課

電話 018-889-2313

----- 切り離さないでください -----

令和7年度写真票	
受験番号	※
氏名	
志望学科・コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース 該当事項を☑すること
<div style="border: 1px dashed black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>写真貼付欄</p> <p>縦 4 cm × 横 3 cm</p> </div>	

※受験番号の欄には記入しないでください。

令和7年度秋田大学総合環境理工学部国際バカロレア入試 自己アピール書

受験番号	※
------	---

(※受験番号の欄には記入しないでください)

志 願 者	ふりがな		性 別	男 ・ 女
	氏 名		生年月日	昭和 平成 年 月 日

自己アピールできることを400字以内に自筆で書いてください。A4判（両面可）1枚程度の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。
 なお必要ならば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。
 日本語で作成してください。

<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <!-- Grid area for writing --> </div>
--

検定料振替払込受付証明書貼付台紙

受験※
番号

※の欄には記入しないでください。

氏名																					
志望学科・コース	<table><tr><td><input type="checkbox"/> 応用化学生物学科</td><td>生物学コース</td><td><input type="checkbox"/> 社会システム工学科</td><td>モビリティコース</td></tr><tr><td></td><td>有機・高分子化学コース</td><td><input type="checkbox"/> 社会システム工学科</td><td>電気システムコース</td></tr><tr><td></td><td>応用化学コース</td><td><input type="checkbox"/> 社会システム工学科</td><td>社会基盤コース</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 環境数物科学科</td><td>数理科学・地球環境学コース</td><td></td><td></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 環境数物科学科</td><td>機能デバイス物理コース</td><td></td><td>該当事項を囲すること</td></tr></table>	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科	生物学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	モビリティコース		有機・高分子化学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	電気システムコース		応用化学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	社会基盤コース	<input type="checkbox"/> 環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース			<input type="checkbox"/> 環境数物科学科	機能デバイス物理コース		該当事項を囲すること
<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科	生物学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	モビリティコース																		
	有機・高分子化学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	電気システムコース																		
	応用化学コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科	社会基盤コース																		
<input type="checkbox"/> 環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース																				
<input type="checkbox"/> 環境数物科学科	機能デバイス物理コース		該当事項を囲すること																		

【総合環境理工学部国際バカロレア入試】

<p>振替払込受付証明書貼付欄</p>

注) 日附印が押されていることを確認の上、証明書の全面にのり付けして貼ってください。

検定料免除の許可を受けた方は、願書添付用の検定料免除決定通知書に全面のり付けして貼ってください。

大学担当者処理用スペース 何も記入しないでください。	受験番号※
	(ふりがな) 氏 名

宛 名 票

① 合格通知用	郵便番号 <input type="text"/>
	住所 _____ _____
	氏名 _____ 様
	電話 - -
	受験番号 ※
② 事務手続用	郵便番号 <input type="text"/>
	住所 _____ _____
	氏名 _____ 様
	電話 - -
	受験番号 ※

- 注1) ※の欄は、記入しないでください。
 2) 住所は、合格通知書の受信場所を記入してください。
 3) ①、②には同じ住所を記入してください。

-----切り離さないでください-----

右の宛名票は秋田大学生協から入学準備に関する資料を送付するためのものです。(大学生生活案内、教科書教材、アパート等の情報等)
 秋田大学から秋田大学生協へ、資料送付のための住所、氏名等を提供しますので、同意いただける方は記入してください。

(秋田大学生協用)	郵便番号 <input type="text"/>
	住所 _____
	フリガナ _____
	氏名 _____ 様
	電話 - -
	受験番号 ※

速 達

0108502

切 郵
手 便

総合環境理工学部国際バカロレア入試
入学志願票等在中

速達簡易書留

秋田大学入試課
行

秋田市手形学園町一番一号

志 願 者	志望学科・ コース	<input type="checkbox"/> 応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース <input type="checkbox"/> 環境数物科学科 機能デバイス物理コース	<input type="checkbox"/> 社会システム工学科 モビリティコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 電気システムコース <input type="checkbox"/> 社会システム工学科 社会基盤コース	該当事項を☑すること
	住 所	〒 - 電 話 () - () - ()		
	ふりがな 氏 名			

[出願用宛名用紙]